

◆2021年3月7日 ご支援者さまより転送

今私はGRANJA (畑) に寝泊まりし、少しそちらに力を入れています。すべてがほったらかしの状態でしたから。

ローナルは今仕事を探しています。友達がオペレーター(電話でタクシーの予約を受け付ける)を彼に頼んだ様です。それだと家のパソコンでできる仕事なので私も賛成しました。うまくいくか、そのような方面での仕事を探すようです。

いま(准看の)ソニアが施設長です。頑張ってくれています。彼女の働きで今年から4人が特別学校に通うことになり、4人(ロスメリー、ホセ、ホスエ、パオラ)は大喜びです。

運転手も雇いましたので彼が学校ではホスエとホセの勉強を通訳?一緒に勉強します。まだ4月までは週に1回学校に行き、あとはインターネットでの勉強です。

畑では、豚の飼育を増やす予定です。今年はバザーも4月に計画しています。じっとしてお金を待つわけにはいきませんからね。時間がありません、またメールしますね。皆さんにもよろしくお伝えください。

ロスメリーは得意のゼリーを



畑でとれたトウモロコシをみんなで皮むきして選別中・・・



バザー前に道路を修繕しなきゃ

野原

People who can do what they can do・・・

できることを、できる人が・・・



会場はカペディス前の道路



なかなか盛況の様子!

ご支援下さる皆様のおかげさまで、エルピス会便り 55号をお届けいたします!

皆様へエルピス会便り55号をお届けできる幸運を深く感謝しています。現地レポートにできるだけ紙面を割きたいのでご挨拶はそこそこに失礼いたします。それでは今回は、昭子さんのレポート最新号からスタートしたいと思います!(次のページからは前号の続きです)

◆2021年5月21日着信

日本の皆様、いかがお過ごしですか? コロナがなかなか落ち着きませんね。

ボリビアも5月16日から2週間規定が厳しくなり日曜日は午前0時から1日外出禁止。平日は5時から10時まで外出して良いとの事。それで久しぶりに今日職員の送り迎えをしてきました。早速途中で警察の検閲がありましたが。

そんな中でもカペディス(福祉施設)の皆は元気です。

今月遠足を計画していましたがコロナのせいで中止せざるを得なくなりました。それで急遽変更して畑で遊びながら野菜を収穫したり、近くの川まで行って遊んだりと違った楽しみ方をした1日でした。

最近の私は、ほとんど毎日畑で過ごしています。はじめは筋肉痛になりましたが、すっかり慣れてきました。畑は朝晩の気温が下がり霜が降りそうになってきましたので、トマトなど夜はビニールで囲ったりしなければならなくなりました。また、野菜が少なくなりましたので、子豚を売ったり、サンタクルースの日本人から送ってもらった、たくさんの米のもみ殻の一部を売ったりして収入につなげているところです。

畑にいればカペディスが心配になり、カペディスに戻れば畑の収入が減りと中々うまくいきません。年も考えて無理もできませんが、頭と体がまだ使えるうちは頑張ります。

店はこのコロナの影響をもろに受けて、何か月も店が開けられず、周りの何件もの店が閉店に追いやられてしまいました。私も何度か閉店しようと思いましたが、シスターたちが家賃も払わなくていいと言ってくれ、もう少し頑張ってみようとしています。

マルガリータには3か月給料も払いませんでした。やっとこの前の送金を受けて彼女に2月からの給料の支払いが出来ました。

カペディスの車で送り迎えをして頑張っていますが、状況はほとんどよくなりません。道行く人の数が少なくなり午後4時30分には閉めています。それでもこの店を1度手放してしまうと2度とこの良いチャンスはやってきません。幸いなことにカトリック大学の学生さんたちが、授業の一端で実習としてこの店を良くするための色々な活動をしてくれるようになったようです。少し期待してみています。

このようにあまり良いニュースは送れませんが頑張っています。世界中みんな同じですよ。ガンバロー。

野原 昭子